



平成 23 年 11 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 6 月 30 日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 峰三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進本部長 (氏名) 井上 伸雄 TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 7 月 15 日 配当支払開始予定日 平成 23 年 8 月 8 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 11 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 22 年 12 月 1 日 ~ 平成 23 年 5 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 11 月期第 2 四半期	238,717	3.4	9,447	20.0	10,109	16.8	3,960	36.6
22 年 11 月期第 2 四半期	230,916	2.2	11,815	56.3	12,147	55.5	6,242	54.0

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 11 月期第 2 四半期	26.11	-
22 年 11 月期第 2 四半期	41.15	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 11 月期第 2 四半期	276,478	183,576	57.4	1,045.32
22 年 11 月期	287,957	180,901	54.2	1,029.26

(参考)自己資本 23 年 11 月期第 2 四半期 158,568 百万円 22 年 11 月期 156,134 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 11 月期	-	8.00	-	10.00	18.00
23 年 11 月期	-	9.00	-	-	-
23 年 11 月期(予想)	-	-	-	9.00	18.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 23 年 11 月期の連結業績予想 (平成 22 年 12 月 1 日 ~ 平成 23 年 11 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	480,000	1.9	19,200	13.2	19,700	13.5	8,700	18.0	57.34

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、[添付資料] 4 ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

23年11月期2Q	155,464,515株	22年11月期	155,464,515株
23年11月期2Q	3,770,525株	22年11月期	3,768,621株
23年11月期2Q	151,694,427株	22年11月期2Q	151,697,574株

(四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2．その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3．四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4．補足情報	10
(1) 売上高のまとめ	10
(2) 営業利益のまとめ	11
(3) 11.11期上期（10.12月～11.5月）および11.11期（10.12月～11.11月）計画の営業利益増減状況.....	12
(4) サラダ調味料の業態別販売量および金額	13
(5) 主要な販売費・一般管理費実績と計画	13
(6) 営業外・特別損益の実績、および10年対比での主な増減内容	13
(7) 営業外・特別損益の計画、および10年対比での主な増減内容	13
(8) 貸借対照表の主な増減内容	14
(9) 設備投資および減価償却費	14
(10) 主要な経営指標等の推移	15

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の持ち直しが見られた一方で、好転しない雇用情勢などから個人消費が上向かない環境で推移しました。3月以降は東日本大震災による甚大な被害の影響から、景気の先行きへの不透明感が強まる中、復興に向けた活動を推し進める情勢となりました。

食品業界においては、原資材コストが上昇する地合いのもと、3月以降は商品供給の回復を第一に事業活動を進める状況となりました。

食品物流業界においても、全体の荷動きの低調感が継続する中、3月以降は物流網の回復を最優先とする環境となりました。

当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用関連会社）の状況

平成22年度からの3年間を対象とする中期経営計画における、「人材育成の充実と、グループ品質の向上」を土台とした「事業基盤の強化」と「新たな展開への挑戦」の3つの基本方針、またこれらを強力に推進するドリルの役割として位置づけた「フードサービス戦略の本格的展開」にグループが連携して取り組むことで、企業価値の一層の向上に努めました。

・売上高

タマゴ事業、サラダ・惣菜事業の牽引などにより、震災の影響を乗り越えて2,387億17百万円と前年同期比78億1百万円（3.4%）の増収となりました。

・利益面

震災の影響などの逆風の中、健康機能事業およびサラダ・惣菜事業が伸張したものの営業利益は前年同期に比べ23億68百万円（20.0%）減の94億47百万円、経常利益が前年同期に比べ20億38百万円（16.8%）減の101億9百万円、四半期純利益は震災に伴う特別損失の発生（16億44百万円）を含め前年同期に比べ22億82百万円（36.6%）減の39億60百万円となりました。

セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位 百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減(金額)	増減(比率)
調味料・加工食品	85,374	85,700	326	0.4%
健康機能	8,317	9,197	880	10.6%
タマゴ	40,399	43,106	2,707	6.7%
サラダ・惣菜	37,766	40,165	2,399	6.4%
共通	3,675	2,946	729	19.8%
物流システム	55,383	57,601	2,218	4.0%
合計	230,916	238,717	7,801	3.4%

[営業利益の内訳]

(単位 百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減(金額)	増減(比率)
調味料・加工食品	8,819	7,166	1,653	18.7%
健康機能	594	908	314	52.9%
タマゴ	2,216	1,284	932	42.1%
サラダ・惣菜	630	711	81	12.9%
共通	531	381	150	28.2%
物流システム	1,452	1,430	22	1.5%
調整額	2,429	2,436	7	-
合計	11,815	9,447	2,368	20.0%

(注) 第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しており、前第2四半期連結累計期間の金額は同基準に準拠して算出しています。

調味料・加工食品

- ・震災の影響から国内は減収となったが、海外での展開が貢献し増収
- ・原資材コストの上昇や震災の影響により減益も、グループコストの改革は順調に進展

健康機能

- ・ヒアルロン酸などの医薬用素材や育児食が拡大、高齢者食も順調に推移し増収
- ・売上高の増加と高付加価値商品の拡大により増益

タマゴ

- ・コンビニエンスストア向けの素材品の拡大や、鶏卵相場の高騰の影響により増収
- ・鶏卵相場の高騰に対する価格改定時期のずれにより減益となったものの、米国展開の収益改善は進展

サラダ・惣菜

- ・好調な中食市場に向けた惣菜に加え、パッケージサラダも順調に拡大し増収
- ・業態転換による体質強化や、売上高の増加に伴い増益

共通

- ・外部向け原料販売の縮小などにより売上高と営業利益が減少

物流システム

- ・新規の専用物流取引の獲得や、既存顧客との取組み範囲の拡大により増収
- ・既存取引の減少により採算悪化したが、新規取引の獲得などで前年並みを確保

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、2,764億78百万円と前連結会計年度末に比べ114億79百万円減少
主に「現金及び預金」の減少、「受取手形及び売掛金」、「商品及び製品」の増加による
- ・負債は、929億1百万円と前連結会計年度末に比べ141億54百万円減少
主に「支払手形及び買掛金」の増加、「短期借入金」、「未払法人税等」の減少、「引当金」の増加、「その他」(未払費用)の減少による
- ・純資産は、1,835億76百万円と前連結会計年度末に比べ26億75百万円増加
主に「利益剰余金」、「少数株主持分」の増加による

キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、208億23百万円と前連結会計年度末に比べ122億98百万円減少
- 各キャッシュ・フローの状況
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、売上債権、仕入債務、たな卸資産の増加、法人税等の支払などにより75億95百万円の収入
(前年同期は97億25百万円の収入)
 - 投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資のための支出などにより57億52百万円の支出
(前年同期は58億92百万円の支出)
 - 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少、配当金の支払などにより140億71百万円の支出
(前年同期は18億76百万円の支出)

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

下期は、震災の経験を踏まえた企業体質の強化にあらためて取り組むとともに、震災後の市場環境の変化やニーズに対応した食の提案を推し進めてまいります。また、被災地域を応援する取組みにも引き続き力を注いでまいります。

中期経営計画の2年目にあたり、「事業基盤の強化」においては、サラダ調味料の安定的な拡大と競争力の強化、ヒアルロン酸では高機能商品の市場浸透と既存商品のコスト低減、タマゴ商品における提案力の強化とコスト競争力の向上、サラダやパッケージサラダの付加価値型商品の提案の拡大などを一層推し進めてまいります。また「新たな展開への挑戦」では、国内においては、新・ソースワールドの打ち出しなどによるグループ全体での提案により市場の深耕を図るほか、海外では、中国・タイのフードサービス市場の攻略やマレーシア・ベトナムでの展開を加速し、東アジアでの拡大を推進してまいります。

通期の業績につきましては、震災の影響を踏まえ、去る5月13日に公表のとおり、売上高4,800億円、営業利益192億円、経常利益197億円、当期純利益87億円を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

重要な該当事項はありません。

特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益および経常利益はそれぞれ2百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は172百万円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は388百万円であります。

「持分法に関する会計基準」および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,871	29,718
受取手形及び売掛金	65,939	64,701
有価証券	5,000	5,000
商品及び製品	11,326	10,372
仕掛品	644	733
原材料及び貯蔵品	5,140	4,319
その他	5,980	5,656
貸倒引当金	638	359
流動資産合計	109,264	120,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	125,878	126,716
減価償却累計額	77,466	78,482
建物及び構築物（純額）	48,412	48,233
機械装置及び運搬具	124,669	126,661
減価償却累計額	101,216	103,827
機械装置及び運搬具（純額）	23,453	22,834
土地	40,770	40,752
建設仮勘定	1,795	2,507
その他	11,109	11,181
減価償却累計額	7,819	7,815
その他（純額）	3,290	3,366
有形固定資産合計	117,721	117,693
無形固定資産	2,186	2,315
投資その他の資産		
投資有価証券	19,794	19,495
前払年金費用	17,275	17,753
その他	11,006	11,343
貸倒引当金	770	785
投資その他の資産合計	47,305	47,806
固定資産合計	167,213	167,815
資産合計	276,478	287,957

（単位：百万円）

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,687	39,078
短期借入金	8,211	19,953
未払法人税等	3,772	5,737
引当金	4,216	2,129
資産除去債務	46	-
その他	20,672	24,848
流動負債合計	77,607	91,747
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	1,295	1,548
引当金	2,516	2,488
資産除去債務	293	-
その他	10,689	10,769
固定負債合計	15,293	15,307
負債合計	92,901	107,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,432	29,432
利益剰余金	112,044	109,600
自己株式	3,849	3,847
株主資本合計	161,731	159,290
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,144	1,111
繰延ヘッジ損益	5	20
為替換算調整勘定	4,303	4,247
評価・換算差額等合計	3,163	3,156
少数株主持分	25,007	24,767
純資産合計	183,576	180,901
負債純資産合計	276,478	287,957

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)
売上高	230,916	238,717
売上原価	173,054	182,043
売上総利益	57,862	56,673
販売費及び一般管理費	46,046	47,225
営業利益	11,815	9,447
営業外収益		
受取利息	104	90
受取配当金	137	173
持分法による投資利益	157	122
その他	389	433
営業外収益合計	789	820
営業外費用		
支払利息	181	85
為替差損	116	-
その他	159	72
営業外費用合計	457	157
経常利益	12,147	10,109
特別利益		
前期損益修正益	3	-
固定資産売却益	21	26
貸倒引当金戻入額	67	-
補助金収入	40	-
抱合せ株式消滅差益	-	74
その他	6	56
特別利益合計	138	156
特別損失		
前期損益修正損	2	-
固定資産売却損	2	-
固定資産除却損	213	688
災害による損失	-	1,644
その他	21	320
特別損失合計	239	2,653
税金等調整前四半期純利益	12,047	7,613
法人税等	5,061	3,175
少数株主損益調整前四半期純利益	-	4,437
少数株主利益	743	476
四半期純利益	6,242	3,960

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,047	7,613
減価償却費	6,225	6,463
持分法による投資損益（は益）	157	122
投資有価証券評価損益（は益）	12	35
引当金の増減額（は減少）	1,796	2,374
前払年金費用の増減額（は増加）	359	484
受取利息及び受取配当金	242	264
支払利息	181	85
固定資産除売却損益（は益）	194	663
売上債権の増減額（は増加）	1,449	1,236
たな卸資産の増減額（は増加）	717	1,687
仕入債務の増減額（は減少）	1,125	1,745
その他	3,674	2,990
小計	15,702	13,164
利息及び配当金の受取額	303	300
利息の支払額	184	149
法人税等の支払額	6,096	5,720
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,725	7,595
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	5,350	7,084
無形固定資産の取得による支出	220	214
投資有価証券の取得による支出	66	169
貸付けによる支出	497	40
貸付金の回収による収入	146	146
その他	96	1,608
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,892	5,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	367	1,201
長期借入金の返済による支出	669	10,786
少数株主からの払込みによる収入	182	-
配当金の支払額	1,441	1,517
少数株主への配当金の支払額	182	230
自己株式の取得による支出	2	1
その他	130	333
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,876	14,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	134	77
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	2,091	12,306
現金及び現金同等物の期首残高	27,831	33,121
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	205	-
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	7
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,127	20,823

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

1．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象として商品・役務別に「調味料・加工食品」、「健康機能」、「タマゴ」、「サラダ・惣菜」、「共通」および「物流システム」としております。

各事業の概要は下記のとおりであります。

調味料・加工食品：マヨネーズ、ドレッシング、食酢、ジャム、パスタソース、スイートコーン等

健康機能：育児食、医療食、介護食、ヒアルロン酸等

タマゴ：液卵、凍結卵、乾燥卵、タマゴスプレッド、厚焼卵、錦糸卵等

サラダ・惣菜：サラダ、惣菜、弁当、おにぎり、パッケージサラダ等

共通：食品の販売等

物流システム：食品の運送・保管等

2．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年12月1日至平成23年5月31日）

（単位：百万円）

	調味料・加工食品	健康機能	タマゴ	サラダ・惣菜	共通	物流システム	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高									
外部顧客への売上高	85,700	9,197	43,106	40,165	2,946	57,601	238,717	-	238,717
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,107	263	2,121	240	5,978	11,267	21,979	(21,979)	-
計	87,807	9,461	45,228	40,405	8,925	68,868	260,696	(21,979)	238,717
セグメント利益	7,166	908	1,284	711	381	1,430	11,883	(2,436)	9,447

(注)1．セグメント利益の調整額 2,436百万円には、主として、親会社の管理部門および連結子会社であるケイ・システム(株)と(株)キューピーあいに係る費用等である配賦不能営業費用2,389百万円が含まれております。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

注) 1. 「(10)主要な経営指標等の推移」を除き、表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しております。

2. 本資料中の「上期」の数値は、第2四半期累計の数値を掲載しております。

3. 本資料中の計画数値は本日現在における入手可能な情報及び業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際には様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

(1) 売上高のまとめ

(億円)

売上高	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
09.11期	調味料・加工食品	406	474	880	440	1,320	437	1,757
	健康機能	39	45	84	43	127	46	173
	タマゴ	199	198	397	192	589	206	795
	サラダ・惣菜	199	208	407	209	616	191	807
	共通	18	17	35	18	53	18	71
	物流システム	229	228	457	230	687	233	920
	合計	1,090	1,170	2,260	1,132	3,392	1,130	4,522
10.11期	調味料・加工食品	397	457	854	431	1,285	432	1,717
	健康機能	39	44	83	46	129	49	178
	タマゴ	195	209	404	209	613	218	831
	サラダ・惣菜	184	194	378	205	583	198	781
	共通	20	17	37	16	53	14	67
	物流システム	272	282	554	291	845	292	1,137
	合計	1,107	1,202	2,309	1,199	3,508	1,202	4,710

11.11期	調味料・加工食品	412	445	857				1,737
	健康機能	42	50	92				187
	タマゴ	210	221	431				867
	サラダ・惣菜	194	208	402				825
	共通	14	15	29				53
	物流システム	284	292	576				1,131
	合計	1,157	1,230	2,387				4,800
前年差	調味料・加工食品	16	△12	3				20
	健康機能	4	6	9				9
	タマゴ	15	12	27				36
	サラダ・惣菜	10	14	24				44
	共通	△6	△2	△7				△14
	物流システム	11	10	22				△6
	合計	50	28	78				90

※11.11期通期は、2011年6月30日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

※前年差は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

(2) 営業利益のまとめ

(億円)

営業利益	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
09.11期	調味料・加工食品	18	38	56	46	102	36	138
	健康機能	1	3	4	2	6	0	6
	タマゴ	12	9	21	11	32	4	36
	サラダ・惣菜	0	6	6	6	12	1	13
	共通	1	1	2	2	4	0	4
	物流システム	3	6	9	5	14	8	22
	調整額(全社費用・消去)	△ 10	△ 12	△ 22	△ 10	△ 32	△ 11	△ 43
	合計	26	50	76	61	137	40	177
10.11期	調味料・加工食品	31	57	88	41	129	37	166
	健康機能	3	3	6	4	10	4	14
	タマゴ	11	11	22	11	33	6	39
	サラダ・惣菜	2	4	6	5	11	5	16
	共通	4	1	5	2	7	△ 2	5
	物流システム	6	9	15	9	24	4	28
	調整額(全社費用・消去)	△ 11	△ 13	△ 24	△ 12	△ 36	△ 10	△ 46
	合計	44	74	118	61	179	42	221
11.11期	調味料・加工食品	34	38	72				137
	健康機能	2	7	9				17
	タマゴ	7	6	13				34
	サラダ・惣菜	2	5	7				20
	共通	3	1	4				6
	物流システム	4	10	14				24
	調整額(全社費用・消去)	△ 11	△ 13	△ 24				△ 46
	合計	41	53	94				192
前年差	調味料・加工食品	3	△ 19	△ 17				△ 29
	健康機能	△ 0	4	3				3
	タマゴ	△ 4	△ 5	△ 9				△ 5
	サラダ・惣菜	0	1	1				4
	共通	△ 0	0	△ 1				1
	物流システム	△ 1	1	△ 0				△ 4
	調整額(全社費用・消去)	△ 0	0	△ 0				0
	合計	△ 3	△ 21	△ 24				△ 29

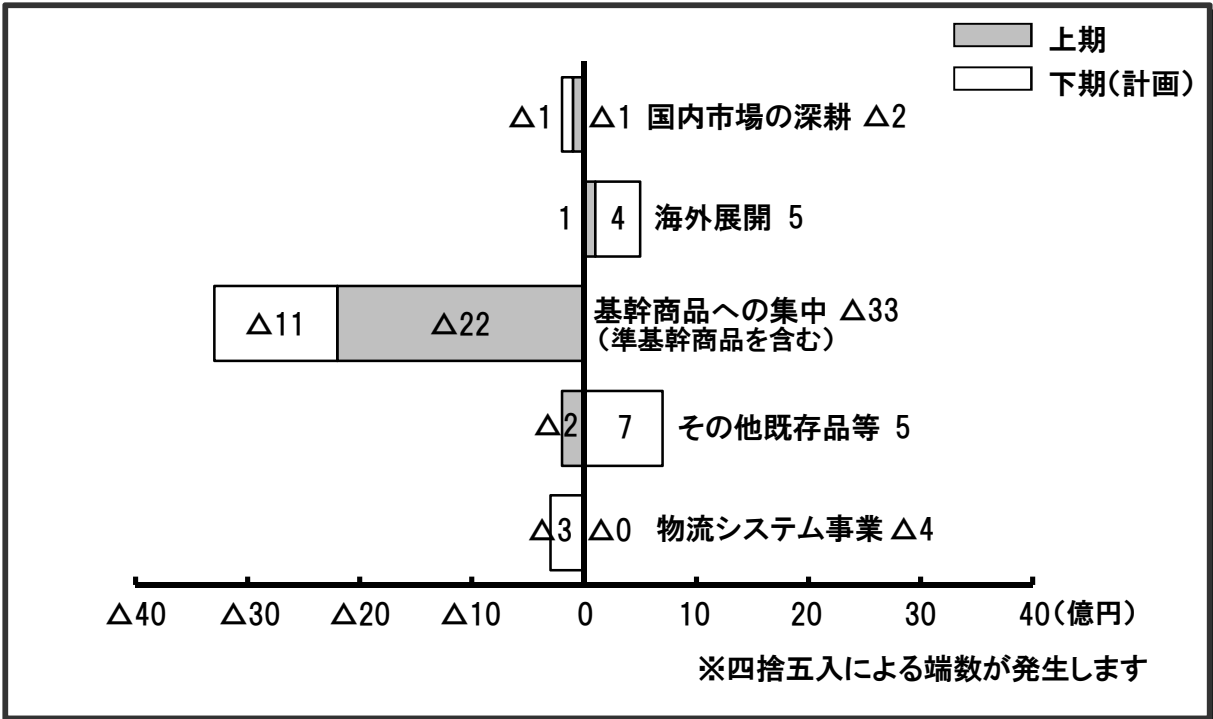
※11.11期通期は、2011年6月30日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

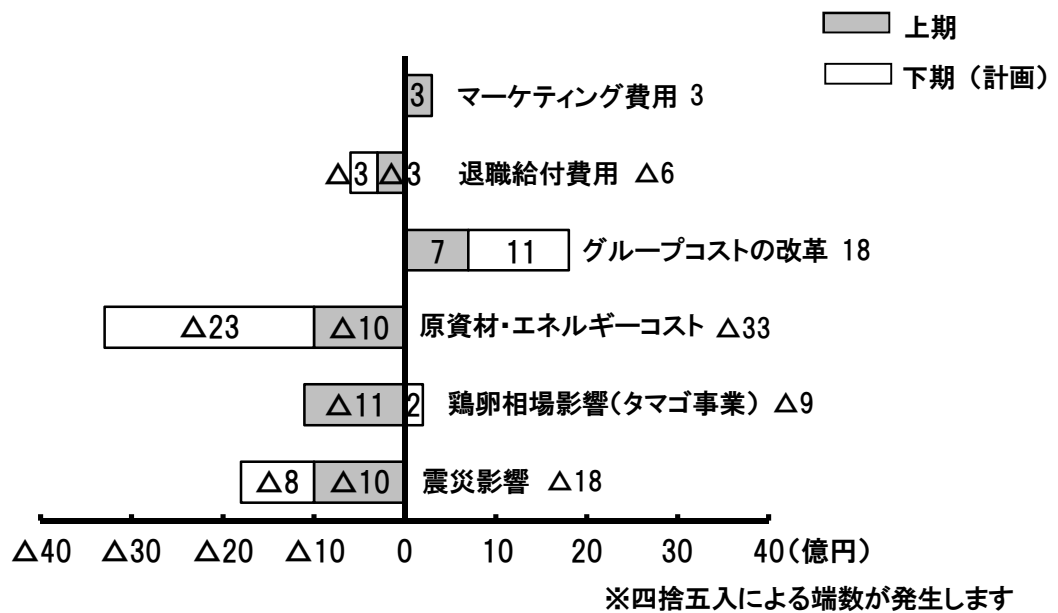
※前年差は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

(3)11.11期上期(10.12月～11.5月)および11.11期(10.12月～11.11月)計画の営業利益増減状況
(億円)

	10.11期	11.11期	前年差
上期	118	94	△ 24
通期(計画)	221	192	△ 29



なお、上記の営業利益に含まれる主なコストなどの影響は以下のとおりです



(4) サラダ調味料の業態別販売量および金額

		09.11期 第2四半期累計	10.11期 第2四半期累計	11.11期 第2四半期累計
家庭用	販売量（千t）	61	62	61
	金額（億円）	349	354	350
業務用	販売量（千t）	46	48	48
	金額（億円）	184	181	184

(5) 主要な販売費・一般管理費実績と計画

(億円)

	09.11期 第2四半期累計	10.11期 第2四半期累計	11.11期 第2四半期累計	10.11期	11.11期計画
販売促進費	86	87	89	182	181
広告宣伝費	40	41	36	78	76
物流費	125	125	131	258	271
労務費	107	113	118	228	235
研究開発費	15	14	15	32	33

(6) 営業外・特別損益の実績、および10年対比での主な増減内容

(億円)

	10.11期 第2四半期累計	11.11期 第2四半期累計	増減内容(10年と11年比較)
営業外損益	3	7	支払利息の減少 + 1 為替差損の減少 + 1
特別損益	△ 1	△ 25	災害による損失の増加 △ 16 固定資産除却損の増加 △ 5 資産除去債務計上損の増加 △ 2

(7) 営業外・特別損益の計画、および10年対比での主な増減内容

(億円)

	10.11期	11.11期計画	増減内容(10年と11年計画比較)
営業外損益	7	5	支払利息の減少 + 1 その他収益の減少 △ 3
特別損益	△ 14	△ 35	災害による損失の増加 △ 18 固定資産除却損の増加 △ 4

(8) 貸借対照表の主な増減内容

(億円)

	10.11期	11.11期 第2四半期	増減	増減の主な内容
(資産の部)				
流動資産	1,201	1,093	△ 108	現預金の減少 △ 138 営業債権の増加 12 たな卸資産の増加 17
固定資産				
有形・無形固定資産	1,200	1,199	△ 1	取得による増加 65 減価償却による減少 △ 65
投資その他の資産 (繰延資産を含む)	478	473	△ 5	前払年金費用の減少 △ 5
(負債の部)				
	1,071	929	△ 142	借入金の減少 △ 120 未払法人税等の減少 △ 20
(純資産の部)				
	1,809	1,836	27	利益剰余金の増加 24 少数株主持分の増加 2

(9) 設備投資および減価償却費

(億円)

	09.11期 第2四半期累計	10.11期 第2四半期累計	11.11期 第2四半期累計	10.11期	11.11期計画
設備投資	63	58	75	126	157
減価償却費	62	62	65	131	143

(10) 主要な経営指標等の推移

	09.11期 第2四半期累計	10.11期 第2四半期累計	11.11期 第2四半期累計	09.11期	10.11期
売上高(百万円)	225,953	230,916	238,717	452,239	471,010
対前期増減率(%)	△ 3.9	2.2	3.4	△ 4.6	4.2
営業利益(百万円)	7,560	11,815	9,447	17,731	22,119
対前期増減率(%)	13.3	56.3	△ 20.0	26.3	24.7
売上高営業利益率(%)	3.3	5.1	4.0	3.9	4.7
経常利益(百万円)	7,814	12,147	10,109	18,414	22,762
売上高経常利益率(%)	3.5	5.3	4.2	4.1	4.8
四半期(当期)純利益(百万円)	4,053	6,242	3,960	9,036	10,613
売上高四半期(当期)純利益率(%)	1.8	2.7	1.7	2.0	2.3
純資産額(百万円)	167,487	177,820	183,576	170,804	180,901
総資産額(百万円)	297,178	283,314	276,478	275,650	287,957
自己資本比率(%)	48.9	54.2	57.4	53.8	54.2
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	13,899	9,725	7,595	31,301	25,731
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△ 7,304	△ 5,892	△ 5,752	△ 11,548	△ 15,120
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△ 1,783	△ 1,876	△ 14,071	△ 18,462	△ 5,381
フリーキャッシュ・フロー(営業CF+投資CF)(百万円)	6,595	3,833	1,842	19,752	10,611
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(百万円)	31,607	30,127	20,823	27,831	33,121
有利子負債(百万円)	40,624	25,312	12,167	25,595	23,923
1株当たり純資産額(円)	958.35	1,012.61	1,045.32	978.33	1,029.26
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	26.71	41.15	26.11	59.56	69.97
1株当たりフリーキャッシュ・フロー(円)	43.47	25.27	12.15	130.19	69.95
自己資本四半期(当期)純利益率(%)	2.8	4.1	2.5	6.2	7.0
総資産経常利益率(%)	2.7	4.3	3.6	6.5	8.1
1株当たり第2四半期(年間)配当額(円)	7.5	8.0	9.0	17.0	18.0
従業員数(外、平均臨時雇用者数)(人)	10,238 (8,335)	11,834 (10,635)	12,105 (10,828)	10,507 (8,455)	11,732 (10,923)
第2四半期末(期末)株価(円)	955	975	987	997	1,019

注) 売上高には、消費税等は含めておりません。